

一般社団法人日本鉱物科学会
平成29年度第3回定例理事会 議事録

- 【1】招集通知年月日：平成30年(2018年)8月10日
- 【2】開催年月日及び時刻：平成30年(2018年)9月3日(月)
13：00～15：00
- 【3】開催場所：東北大学理学部理学合同A棟4階402室
日本鉱物科学会事務局
(ZOOMによるオンライン会議)
- 【4】理事総数および定数：総数 32名，定足数 17名
- 【5】出席理事数：25名（WEB会議参加）

土山 明， 榎並正樹， 大藤弘明， 鍵 裕之， 貴治康夫，
角替敏昭， 永島真理子， 濱本拓志， 平島崇男， 宮島 宏，
森下知晃， 黒澤正紀， 下林典正， 高澤栄一， 長瀬敏郎，
中村美千彦， 安東淳一， 大和田正明， 河上哲生， 川本竜彦，
鈴木正哉， 伴 雅雄， 三河内岳， 宮脇律郎， 吉朝 朗

- 【6】欠席理事数：7名

佐藤 努， 阿部なつ江， 井上 徹， 上原誠一郎， 小暮敏博，
土谷信高， 永井隆哉，

- 【7】出席監事：小山内康人

- 【8】オブザーバー：(幹事，各委員長，報告者)

出席：栗林貴弘会計幹事，大谷栄治連絡担当委員，門馬綱一研究
発表優秀賞選考委員会委員長，JpGUプログラム委員
欠席：片山郁夫Elements幹事，奥山康子教育普及委員会委員長，
坂野靖行博物館委員会委員長，土屋範芳研究部会代表

- 【9】議事概要

定足数17名を超える25名の理事が出席し，定款30条により理事会
が成立したことを確認した。今回の理事会も多くの理事に出席し
ていただくよう，ZOOM Meeting WEB会議ソフトを利用して開催
した。土山会長が議長に選出された後，土山議長はWEB会議シ
ステム(ZOOM Meeting)の通信状況（出席者全員の音声と映像が
即時に伝わり，適時的確な意見表明が互いにできる状況）に問題
がないことを確認し，平成29年度第3回定例理事会を開始した。
まず初めに，会議に先立ち，土山会長の指名により事務が書記を
担当することになった。

1. 審議事項

第1号議案 新入会承認の件

(佐藤幹事代理・中村庶務幹事・理事)

佐藤会員幹事代理中村庶務幹事から一般会員4名，学生会員31名
(記載省略)の入会申し込みが紹介され，合計35名の入会が承認さ
れた。

第2号議案 研究発表優秀賞選考委員会交代委員の承認

(中村庶務幹事・理事)

中村庶務幹事から研究発表優秀賞選考委員会新規交代委員の承
認について提案があり，門馬研究発表優秀賞選考委員会委員長か
らガイドラインの説明があり，門馬委員長により指名された1期
目新規委員候補者下記5名について承認された。

下線の委員が今回承認された1期目新規委員(2018年年会，2019年
年会審査担当)。

委員長：門馬綱一(2年期目の委員で前期の副委員長)

副委員長：越後拓也(1期目の委員の中から委員長指名)

委員：1期目新規委員(5名)：越後拓也，境 毅，辻森 樹，

長瀬敏郎(理事)，興野 純

2期目継続委員(5名)：門馬綱一，坂巻竜也，三河内岳(理事)，

三宅 亮，齊藤 哲

第3号議案 細則等検討委員会答申と審議(大和田委員長・理事)

大和田細則等検討委員会委員長から，2018年5月19日の第2回定例
理事会において，細則等検討委員会で検討することが承認された
1. 役員選出内規の一部改正と2. WG設置の規約化について，委員
会での数回のメール審議を行った結果について説明がなされ，以
下の委員会答申結果について審議の後，承認された。

1. 役員選出内規の一部改正についての答申：

下線の箇所が改正箇所

- 1) 選挙公示と選挙時期：2.....選挙実施年の3月に公示する。

選挙は隔年7月に行い，...

- 2) 選挙関係：年齢制限はつけない。それ以外は下記修正案通り。

(会長・副会長候補者推薦委員会及び

会長・副会長候補者推薦方法)

- (2) 会長・副会長候補者は，正会員，名誉会員5名以上(氏名，所
属，連絡先を明記する)を推薦人として，本人の承諾を得て，
会長・副会長候補者推薦委員会が指定する指定期日まで氏名，
所属，研究分野を必ず明記し「会長・副会長候補者推薦委員会」
に推薦することができる。

- (4) 会長・副会長候補者推薦委員会は，上記の次期会長・副会
長候補者を氏名，所属，研究分野を必ず明記し，選挙実施年の
第2回理事会前日まで選挙管理委員会に....

(理事候補者推薦方法)

6. 理事候補者は，正会員，名誉会員3名以上(氏名，所属，連絡先
を明記する)を推薦人として，本人の承諾を得て，選挙実施年
の第2回理事会前日まで氏名，所属，研究分野を必ず明記し選
挙管理委員会に推薦された者とする。

(監事候補者推薦方法)

7. 監事候補者は正会員，名誉会員5名以上(氏名，所属，連絡先
を明記する)を推薦人として，本人の承諾を得て，選挙実施年
の指定期日までに氏名，所属，研究分野を必ず明記し選挙管理
委員会に推薦された者とする。

(投票方法)

9. 投票はWEB投票と郵送による投票とし，いずれも投票期間
は7月中とする。

(次点者)

- (3) 理事候補者選挙の次点者が補欠候補者を辞退した場合，次々
点者が補欠候補者となる。

2. ワーキンググループ(WG)の設置に関する規約化についての
答申：特に設けない。

理由：運営細則の第9条では「会長は必要に応じ理事会の承認
を経て，その他の委員会を置くことができる。」としてい
ます。この細則を根拠にWGを委員会の一つと解釈して
運用する。

なお，細則等検討委員会から，以下の補足と問題点について理事
会へ提案がなされた。

<1>上記 2) 選挙関係の年齢制限はつけない答申について：理事
の方が定年を迎えた場合，理事会や総会へ私費で出席する場
合が考えられる。年齢制限をつけない場合，定年を迎えた理事
の方の交通費をどうするかという問題が生じる。またこの件に
関連して，会長，副会長，監事の理事会や総会への出席や重要
な外部会議への出席についても交通費を支給するかどうか議

論が必要だと思うので、このような交通費の規定を設けるかどうかについて、次回(2018/9/20)の第1回理事会に提案したいと考えています。

<2>上記(次点者)について：現在の役員選出内規は、監事候補者選挙に次点者がいるものとして規定されているが、監事候補者が1名のみで、次点者もない場合、辞任等によって監事が欠けることとなっても業務が可能な状態では後任監事が総会で選任されるまでは辞任届提出後も監事としての職責を負うが、一方、監事が職責を負うことが実際不可能な状態(重病や死亡等)では監事が不在となるので、後任監事を速やかに臨時総会を開催して選任しなければならない。以上から監事候補者については、定款に従って2名を選出する努力が今後必要であることを理事会へ提案します。

第4号議案 社員総会の日時・場所・総会議事及び計算書類などの審議(平成29年度決算及び事業報告、監査報告)
(土山会長、小山内監事、栗林会計幹事)

土山会長から、平成30年9月20日開催の平成29年度定時社員総会開催に向けて以下の審議事項について提案があり、社員総会開催日程と定時総会資料「平成29年度決算及び事業報告」の事業報告について土山会長から説明がなされ、決算書については栗林会計幹事から詳細な説明がなされ、小山内監事から2018年9月3日午前9時から実施した会計監査の報告が意見付きでなされた。質疑応答の結果、以下の通り承認された。

1. 社員総会開催日程：平成30年9月20日(木)
場所：山形大学小白川キャンパス基盤教育2号館221教室
 2. 総会資料「平成29年度決算及び事業報告」の事業報告と決算報告内容。
 3. 監査報告(小山内監事)：
2018年9月3日(月)9時より学会事務局において平成29年8月1日から平成30年7月31日までの一般社団法人日本鉱物科学会第 期事業年度における会計及び業務の監査を行った。その結果につき別紙のとおり報告する。
- 意見：継続的な赤字予算の設定は法人として正常な運営とはいえず、適正性を欠くと思われる。現在もいろいろ検討されているところであるが、収入増を図るために1) 会員増、2) 会費増収(値上げ)、3) 年会費増収(値上げ)などで抜本的改革を検討してほしい。例えば、Elements購読費を学会会計で負担することは既に現実として不可能に近づいてきており、この学会負担分(US\$15 約2,000円)を会費値上げするなどして、適正な財政状況にすることを目指し、具体的に検討してほしい。
4. 上記の承認を受け、「平成29年度決算及び事業報告」を平成29年度定時総会へ提出する。

最後に定時総会議事録には出席役員として出席理事の氏名を記載しますので、ぜひ出席(委任状、書面による議決権行使可)をお願いしました。

第5号議案 平成30年度修正収支予算案の審議(栗林会計幹事)

栗林会計幹事から、平成30年度修正収支予算案について以下の説明があり、質疑応答の結果、承認された。
2018年5月19日第2回定例理事会で承認された平成30年度予算案は、7月31日の決算前の予算で未定のところが多く、7月の決算後に修正予算案を立て、当第3回理事会に提出し最終承認を受けることが第2回理事会で承認されていたので、2018年7月31日に決算が確定したことから繰越金を記載し、現在会員数による会費納入見積り、その他各費目などの積算予算を現状に合わせて明確な数

字を計上した修正収支予算案が提示する。

第6号議案 2019年年会開催地日程などの承認
(土山会長、説明黒澤行事幹事)

土山会長から2019年年会開催地詳細について提案があり、黒澤行事幹事から5月19日第2回理事会後の詳細情報について説明があり、承認された。

- ・2019年年会は、2019年9月20日(金)～22日(日)に九州大学伊都キャンパスで開催。
- ・現在、18～19日のプレ巡検1件と、学会後の鉱物標本見学会1件の実施を検討中。
- ・現地LOCのメンバーは以下の通り。運営委員会：
委員長、責任者
小山内康人、桑原義博、仙田量子、中野伸彦、足立達朗
(以上九大・比文)、真丸淳志、久保友明、上原誠一郎、池田剛、宮本知治、宇都宮聡(以上九大・理)、渡邊公一郎(九大・工)、野口高明(九大・基幹)
- ・なお、学会参加登録費の値上げを検討していることの報告があった。

第7号議案 2019年理事会開催日の審議(中村庶務幹事・理事)

中村庶務幹事から2019年度第2回定例理事会と第3回定例理事会開催日程案が提案され、諸状況と条件の説明がなされ、質疑応答の結果、現状の範囲内で以下の通り承認された。

- (1) 平成30年度第2回定例理事会開催日程：2019年5月25日(土)
会場は鍵理事のご協力で東京大学理学部1号館の予定。
- (2) 平成30年度第3回定例理事会開催可能期間：2019年8月28、29、30日の中から次期平島監事の都合を考慮し、2019年5月25日の第2回定例理事会で決めることになった。
2019年8月28、29、30日監査、理事会開催の理由：
・2019年9月21日(土)が九州大学での平成30年度定時総会開催となるので、書面議決権行使を認めている場合は、総会招集通知送付日と総会開催日を14日間開けなければならない。一方、郵送での書面議決権送付が受け取れる最終日は、事務員は9月18日には九州に出発するため、9月17日となるので、この場合はその2週間前の9月2日に発送しなければならない。9月2日(月)まで総会招集通知を出す(理事会で承認された総会資料報告書計算書を送る)ためには、2019年8月28、29、30日頃に事業報告、決算報告の監査を実施し、理事会を開催して総会資料の承認を受ける必要がある。総会資料のコピーと封入に時間を要するのでこれ以上遅くはできない。

第8号議案 年会での非常時(気象、地震など)警報発生に対する年会開催の中止や延期などの対応について
(黒澤行事幹事・理事)

黒澤行事幹事から、昨今の年会開催時の非常時についての対応について以下の通り提案があった。表記について2018年年会開催地の伴理事から質問があり、昨年の地質学会の例や昨今の気象状況などもあり、対応する責任者を決めていただき、来る年会での万が一の非常時に備えたいとのこと。これについて、質疑応答、審議がなされ、責任者は会長であり、担当者として会長、副会長、庶務幹事、LOC委員長、行事幹事があたり、協議して対応を決めることで承認された。

第9号議案 三鉱名簿の対応(中村庶務幹事)

中村庶務幹事から、2018年5月20日に開催された三鉱連絡会議で検討された以下の内容について提案があり、審議の結果承認された。

- ・三鉱名簿(2013年以降、改訂されていない)は、今後は作成しな

い。

- ・現在(連絡会当時),パスワードを入れるとwebで閲覧できるが、個人情報漏洩の恐れがあるので、ネット上の三鉱名簿の閲覧をできなくするとともに、元のデータを廃棄すること。

その他の議案

榎並副会長から、将来企画検討委員会内に会計の問題に関する会計問題WGを新たに立ち上げることの提案があり、平成30年度から活動できるように山形大学での第1回理事会まで委員を選任することが承認された。

11. 報告事項(平成30年2018年5月20日以降の業務報告)

1. 会長・副会長の職務執行報告(土山会長・榎並副会長)

各業務は各担当者に一任していることから、会長、副会長から個別の報告は特にないので、以下の順に沿って、各担当者に報告いただいた。

2. 会員報告(佐藤会員幹事・理事代理中村庶務幹事・理事)

佐藤会員幹事代理中村庶務幹事により以下の通り、平成30年度第2回定例理事会(2018年5月19日)以降の会員動静の報告がなされた。物故会員2名(名誉会員1名,永年会員1名),退会者22名(内訳:シニア会員7名,一般会員10名,学生会員5名),住所不明者2名(永年会員2名)であった。なお、7名の2年会費未納者がリストアップされ、まずは関係者により年内まで納入するよう連絡してもらい、納入がなければ規定に従い資格停止者となる。2018年9月3日現在の会員数総数は896名(内訳一般会員583名,シニア会員178名,学生会員84名,永年会員35名,名誉会員16名)で2017年9月12日の定時総会後より16名減少となった。

3. 広報報告(伴広報幹事・理事)

伴広報幹事により、広報活動について以下の通り報告がなされた。

- (1) 会員へのML送信を実施した:2018年5月20日以降8件。内容:年会開催関係,役員選挙,公募案内,関連学会案内等。
- (2) 山形での年会開催時の日本鉱物科学会一般普及講演「日本の国石・ひすい」に向けて対応を行った。
- (3) 2018連合大会の日本鉱物科学会ブース展示対応を行った。
 - 1.学会誌配布,年会,表彰,入会案内のポスター紹介,2.学会会員の執筆書籍の展示・紹介,3.Elementsの配布,4.「一家に1枚:鉱物・地球と宇宙の宝物」ポスター配布,5.寄贈資料の展示

4. 渉外報告(川本渉外幹事・理事)報告なし

5. 和文誌編集報告(長瀬和文誌幹事・理事)

長瀬和文誌幹事により、GKKの編集状況について以下の通り報告がなされた。

- 1) 編集状況:平成30年7月31日まで岩石鉱物科学46巻3号,4号,47巻1号,2号の合計4号が発行された。掲載件数頁数は原著論文4件58p,総説1件10p,資料・解説7件60p,新刊紹介3件1.5p,ニュース(他学会案内,公募等)0.5p,投稿規定3p,学会記事(理事・総会議事録)56p,その他の記事17p,総目次2p,広告4件2p,白頁2p,4号分合計頁212p,1号平均頁53p。発行予定状況:47巻3号(10月末発行予定):原著論文1編,資料1編,フィールド紹介1編。2)現在査読中論文:1編。3)2018年9月19日(水)12:00~12:30にGKK編集委員会を開催予定。編集委員の交代など検討する。

6. 英文誌編集報告(平島英文誌幹事・理事)

平島英文誌幹事により、JMPSの編集状況について以下の通り報告がなされた。

- 1) 投稿数状況:2018年5月20日以降3編,6月2編,7月6編,2018 JpGU大会講演Letter募集:申込8件,投稿5件,海外からの投稿7編(中国,イラン,スリランカ,トルコ,エジプト等)。
- 2) 編集状況:早期公開中1編,受理論文5編,査読中:9編 返却中:6編。
- 3) 発行状況:113巻3号(6月号)(7月7日公開),113巻4号(8月号)原著論文5編 印刷完了,公開待ち113巻4号(10月号)受理論文5編印刷準備中。
- 4) 2017 JMPS Impact Factorは2016年特集号(111-1+2)発行により前年度2016 0.409より上昇し1.030となった。
- 5) 2018年年会発表講演論文募集投稿申込締切日:2018年10月10日(水)締切日厳守,原稿提出締切日:2018年11月19日(月)締切日厳守。
- 6) 2018年9月19日12:30~13:30に2018年第2回編集委員会開催予定,新英文誌編集幹事,新編集委員長,副編集委員長,編集委員の交代など。

7. 庶務報告(中村庶務幹事・理事)

中村庶務幹事により、平成29年度第2回定例理事会(2018年5月19日)以降の庶務業務について以下の様に報告がなされた。1)平成30年5月20日のJpGU2018開催期間中に三鉱連絡会議を開催(出席者:JAMS:土山会長,中村庶務幹事,SRG:森下会長,藤本常務委員長合計4名)2)平成30年5月30日:愛媛大学地球深部ダイナミクス研究センター(GRC)と岡山大学惑星物質研究所から、国際共同利用機関推薦支援依頼があり、メール幹事会を開催して検討して、推薦の支援をした。3)平成30年6月30日:小惑星探査機「はやぶさ2」の小惑星リュウグウ到達成功に関する声明文についてメール幹事会を開催して賛同を得たので関係各位に声明文を送った。4)平成30年7月26日:日本鉱物科学会選出2019年JpGUプログラム委員として下記の方に継続してお願いした。(正)齊藤 哲(副)門馬綱一。5)その他,理事会開催準備,連合への対応,後援・共催・協賛対応,会員への連絡,事務局管理などを行った。

8. 行事・年会報告(黒澤行事幹事・理事)

黒澤行事幹事により以下の通り報告がなされた。なお、2019年年会に関しては審議事項第6号議案で説明,承認された。

- 1) 2018年年会開催状況:6月25日(月)9時から7月17日(火)20時まで年会講演申込サイトにて申し込みを受け付け,7月19日(木)17:00まで延長したところ,申込数は198件で昨年と同じとなり,そのうち発表優秀賞エントリー33件と昨年より5件増えた。LOCにより会場準備済み,8/11に日程表とプログラムを年会HPに公開した。2018年年会では(1)市内ツアー(9月19日(水)17:00から),(2)巡検(2018年9月22日(土):蔵王温泉,蔵王山),(3)一般普及講演(9月22日(土)13:00~「日本の国石・ひすい」(会場)ゆうキャンパス・ステーション(山形駅前))の「企画。また昨年同様,最終日の講演終了後,クロージングセレモニーを実施する。
- 2) 2019年年会開催日程の件:2019年年会は、2019年9月20日(金)~22日(日)に九州大学伊都キャンパスで開催の予定。・現地LOCのメンバーは以下の通り。現在、18~19日のプレ巡検1件と、学会後の鉱物標本見学会1件の実施を検討中。・運営委員会:(委員長,責任者) 小山内康人,桑原義博,仙田量子,中野伸彦,足立達朗(以上九大・比文),真丸淳志,久保友明,上原 誠一郎,池田 剛,宮本知治,宇都宮聡(以上九大・理),渡邊公一郎(九大・工),野口高明(九大・基幹)

9. Elements 報告(片山Elements幹事) 報告なし

10. 細則等検討委員会報告(大和田幹事・理事)

審議事項第3号議案で報告した。

11. 将来企画委員会報告(榎並副会長) 報告なし
 12. 特務幹事(会員増対策担当)報告(吉朝幹事・理事)

吉朝会員増対策担当特務幹事・理事から以下の通り報告があった。

- 1) 会員増に向けて、シニア会員の経費負担削減により、より長く会員として留まっていた方向の下記提案を会員区分等検討WGで検討をおこなってきた結果、会員会費規定第5条に第2項を加筆することが2018年5月19日の第2回定例理事会で承認されたこと。この規定改正を2018年9月20日の総会で諮るが、承認された場合は、会計期間の都合上、2019年8月1日からの会計年度の会費徴収から適用することとする。
- 加筆：2 シニア会員は、申し出によって、雑誌Elementsの受領を辞退することができる。その場合のシニア会員の会費は、電子版及び冊子版を購読するシニア会員6,000円、電子版のみを購読するシニア会員5,000円となる。
- 2) その他、会員増に向け、情報収集と議論を行い、下記の提案をする。以下、アンケート実施も含めて、今後も努力を続けていく。・中堅会員に対しては、関連学会員との共通あるいは深く関係するテーマのシンポジウム等を頻繁に行い、会員増を図る。・若手会員に対しては、学生会員の卒業後の定着に向けて、学生会員並みの会費で、アカデミアではなく情報収集を中心とし、サービスを落とした準会員等の会員制度も検討する。・高校教員や高校生の積極的な参加を図る。会費の配慮が必要。・鉱物や岩石のマニアの参加について、議論した。前向きな意見とそうでない意見があった。
- 3) Elements誌の配布の差別化を図り、会計上の余裕を調査した結果、会員の差別化に前向きな意見があった。

13. 次期役員候補者選挙報告(選挙管理委員・代表坂巻委員)

一般社団法人日本鉱物科学会
 選挙管理委員会 委員 大内智博, 坂巻竜也, 則武史哉

坂巻選挙管理委員から6月29日から7月17日までに投票があった一般社団法人日本鉱物科学会の次期役員選挙結果について以下の結果が報告された。なお、定款に従い、理事と監事は平成30(2018)年9月20日に開催される定時総会にて選任され、会長、副会長は同日の第1回定例理事会にて選定される。

定款抜粋(役員の選任)第20条 理事及び監事は、総会の決議によって選任する。2 会長及び副会長は、理事会の決議によって理事の中から選定する。

投票状況は次の通りであった。

投票用紙発送総数 891(内訳: WEB 829, 郵送62),
 総投票数 201(内訳: WEB 191, 郵送 10), 無効投票 6(内訳: WEB 6,
 郵送0), 有効投票 195(内訳: WEB 185, 郵送 10)
 開票日: 2018年7月23日立会人: 西原 遊, 栗林貴弘

理事: 22名

榎並正樹, 宮脇律郎, 安東淳一, 阿部なつ江, 井上 徹,
 大藤弘明, 大和田正明, 鍵 裕之, 川本竜彦, 河上哲生,
 黒澤正紀, 辻森 樹, 土屋範芳, 富岡尚敬, 中村美千彦,
 永井隆哉, 永島真理子, 長瀬敏郎, 伴 雅雄, 森下知晃,
 塚本尚義, 吉朝 朗,
 理事次点: 高澤 栄一
 監事: 平島崇男

14. 地惑連合報告(大谷連絡担当委員)

大谷JpGU連絡担当委員から以下の通り報告がなされた。第3回理事会が開催された: 2019年の年会に向けて準備が始まっている。

プログラム委員の選出, プログラムのガイドラインが決まりつつある。EとJの2種類に区分。2019年大会体制: 大会委員長 水文・水資源学会 会長プログラム委員長: 堀 和明(名古屋大学) プログラム副委員長: 稲垣 史生(JAMSTEC) 2020年大会プログラム委員長プログラム副委員長: 樋口篤志(千葉大学環境リモートセンシング研究センター) 2018年大会プログラム委員長: 第3回理事会では、以下の事項が審議された。新入会員承認の件, 新入会団体会員承認の件, 委員会委員承認の件, SOLASコンファレンスへの大気水圏科学セクション協賛承認の件, 就業規則改定の件(フレックス制度の導入), 雇用人事承認の件, 地球惑星科学振興西田賞準備資金取扱規則の改定の件, 会員管理等システム移行ならびにセキュリティ向上の件, プライバシーポリシー改定の件。

15. 学術会議報告(大谷学術会議連携会員)

大谷学術会議連携会員から以下の通り報告がなされた。・5月以降、人材育成分科会などいくつかの分科会が開催された。また、大型研究計画については、日本地球惑星連合の各セクションを通して、5月に示された原案に対するコメントを各学会・大型研究代表に問い合わせしている。10月をめどに改定案を策定する予定。・人材育成分科会などいくつかの分科会が開催された。・IMA2018がメルボルンにおいて8月12日~17日の日程で開催された。我が国から多数参加した。各種のコミッション会合・ビジネス会合は以下にまとめる。・Monday 12 August 1st council meeting (Closed)・CNMNC meeting (Closed Meeting)・Monday 13 August: 1st Business Meeting (Open Meeting) Location, Plenary three, Ground level Melbourne Convention Centre 1230-1330・CNMNC meeting

(Open Meeting) Location, Room 217, Level 2 Melbourne Convention Centre 1715-1745・Tuesday 14 August: 2nd Council Meeting (Closed Meeting) Location: Room 215, Level 2 Melbourne Convention Centre 1230-1330・Commission on Gem Materials (Closed Meeting): Location: Room 216, Level 2 Melbourne Convention Centre: 1230-1330・Meet the Editors - Mineralogical Magazine: Location: Miner Soc exhibition booth #2, Foyer 3, Level 1 Melbourne Convention Centre 1745-1845・Wednesday 15 August: 2nd Business Meeting (General Assembly): Location: Plenary three, Level 1 Melbourne Convention Centre 1230-1330・Commission of Physics of Minerals: Room 215, Level 2 Melbourne Convention Centre 13:00-15:00・Commission on Museums: Location: Room 215, Level 2 Melbourne Convention Centre 1745-1845・Thursday 16 August: 3rd Council Meeting (Closed Meeting), Location: Room 215, Level 2 Melbourne Convention Centre 1230-1330・15日が開催された総会には我が国から数名が参加した。投票(4票)は、大藤・宮脇・井上・大谷の4名が行った。総会では、次期の会長を含むカウンスルメンバー等の投票が行われ承認された(会長 Lille大学のParick Cordier教授。次期2022 IMAは、フランスリヨンで開催。Medical mineralogy関連の新ワーキンググループが提案され承認された。次回M&Mはブダペスト。以上

16. 三鉱連絡会報告(中村庶務幹事)

中村庶務幹事から2018年5月20日に開催した三鉱連絡会議について以下の報告がなされた。
 ・三鉱名簿(2013年以降、改訂されていない)は、今後は作る必要ないとした。・現在(連絡会当時)、パスワードを入れるとwebで閲覧できるが、個人情報漏洩の恐れがあるので、ネット上の三鉱名簿の閲覧をできなくするとともに、元のデータを廃棄すること。・名簿は作らなくても、セッションやシンポジウムの共催、行事の乗り入れなど、鉱物科学会との連携は今後も進めることの以上を確認した。

17. その他

1) 新鉱物・命名・分類委員会報告(宮脇委員長・理事)

宮脇委員長から下記理由により、鉱物・命名・分類委員会の協議の結果、次期委員長として門馬綱一委員を推薦することが報告された。理由：IMA2018メルボルン大会期間中のIMA-CNMNCにて次期委員長に指名されたため、日本代表委員を新たに決める必要が生じた。IMA-CNMNC日本代表委員は当会鉱物・命名・分類委員会委員長が担うので、委員長の交代が必要となった。

2) 教育普及委員会報告(奥山委員長，代理中村庶務幹事)

奥山委員長代理中村庶務幹事から、2018年5月20日～8月末までの間の鉱物科学会として参画するJpGUの教育関係委員会での活動報告がなされた。

・教育検討委員会として、1) 2018年6月期の学術会議 地球惑星科学委員会 人材育成分科会 地学・地理学初等中等教育検討小委員会に委員を2名派遣(うち1名は当委員会委員の宮嶋)。これからの地球惑星科学教育発展のために提言を作成予定、2) 教員免許状更新講習を開催、3) 京大防災研究所 研究集会「地学教育の展望 - 来たるべき南海トラフ地震に備えて -」(8月25・26日)への運営協力。・教育課程小委員会として、JpGU大会 一般公開セッション「これからの地球惑星科学教育 - 「地理総合」と「地学基礎」」を企画し運営・委員による活動として、JpGU大会や地学教育学会での「埼玉から地学 地球惑星科学実習帳CD版」の頒布や、所属機関での地学試料鑑定イベントへの参加協力を行った。

3) 博物館委員会報告(坂野委員長) 報告無し

4) 「岩石-水相互作用」研究部会報告(土屋代表) 報告無し

5) JpGU学協会長会議報告(土山会長)

土山会長から2018年5月22日に開催された学協会長会について、以下の報告がなされた。

日本鉱物科学会が学協会長会の幹事学会になり、今から1年間の任期である。幹事学会として具体的に何か協議することは今の所ないが、JpGUの理事会にオブザーバー参加の資格があるとのこと。その他、今後3年間のJpGUの開催スケジュールの紹介、各学会の会員減少に関する意見交換などがあった。その後第3回理事会出席案内があったが、JpGU事務局から、希望があれば出席して、出席は必須ではない旨連絡があった。

6) 「日本の国石「ひすい」-バラエティーに富んだ鉱物の国- 報告 (土山会長)

土山会長から、予定していた山形大学の2018年年会開催までの刊行には間に合わないが、可能であれば10/5を目途にできるだけ早い刊行を目指しているとの報告がなされた。

7) 「岩石・鉱物の日」制定の件(土山会長)

土山会長から、「国石」の制定と同様、広く意見をきいて時間をかけて進め、今回はWGの選出も見合わせることにしたとの説明があった。今後、第1回定例理事会までの間、宮脇さんが中心になって進めることで、継続審議としたいとの報告がなされた。

8) JpGUプログラム委員会報告 (JpGUプログラム委員)報告無し

9) その他 特になし

【10】閉会

以上の議事を終え、15時00分に閉会した。

上記の決議を明確にするため、出席した会長、副会長及び監事がこれに記名押印する。

令和2年(2020年)12月11日

会長	土山 明	印
副会長	榎並正樹	印
監事	小山内康人	印 (配布時押印省略)